

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2020年(令和2年)2月12日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆新型コロナウイルス感染症について

- 中華人民共和国湖北省武漢市において、昨年12月以降、新型コロナウイルス感染症の発生が複数報告されて以来、世界各地で患者発生の報告が続いています。愛知県では1月26日に初めて患者が確認され、28日に愛知県内2例目の患者が確認されたと厚生労働省が発表しています。
- 令和2年2月1日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法に基づく「指定感染症」に指定されました。
- 新型コロナウイルス感染症は、我が国において、現在、流行が認められている状況ではありません。市民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
- 湖北省から帰国・入国される方あるいはこれらの方と接触された方におかれましては、咳や発熱等の症状がある場合には、マスクを着用するなどし、事前に保健所へ連絡したうえで、受診していただきますよう、御協力をお願いします。また、医療機関の受診にあたっては、湖北省の滞在歴があることまたは湖北省に滞在歴がある方と接触したことを事前に申し出てください。
- 【多くの方が集まるイベントや行事等の参加・開催について】
多くの方が集まるイベントや行事等に参加される場合も、お一人お一人が咳エチケットや頻繁な手洗いなどの実施を心がけていただくとともに、イベントや行事等を主催する側においても、会場の入り口にアルコール消毒液を設置するなど、可能な範囲での対応を検討いただけますようお願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染症の詳細な情報については下記リンク等をご覧ください。
新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/O000164708_00001.html
新型コロナウイルスに関連する肺炎について(名古屋市)
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/O000124556.html>

◆本市の状況

〔インフルエンザ〕

- 本市における2020年第6週（2月3日～2月9日）のインフルエンザの定点当たり患者報告数は8.11人で、前週（13.60）より減少しました。
- 中川区、南区および名東区では定点当たり患者報告数が、国立感染症研究所が定める警報レベル終息基準値を下回っていないため警報レベルで継続しており、千種区、東区および西区では注意報レベルとなっています。また、愛知県では12月19日にインフルエンザ警報が発令されています。
- 2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されています。また、インフルエンザB型の患者報告数が増加しています。
- インフルエンザは例年1月から2月にかけて流行のピークを迎えます。小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合があるので注意が必要です。
- 主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染です。予防には人ごみを避け、帰宅時には手洗いを行い、また、感染を広げないためにも「咳エチケット」を守りましょう。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 水痘の定点当たり患者報告数は、前週の0.1人から0.2人に増加しました。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020年 第6週	2類	結核	7	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、89歳、結核性胸膜炎 • 男性、91歳、結核性胸膜炎 • 男性、40歳、縦隔リンパ節結核 • 男性、86歳、肺結核 • 男性、84歳、肺結核 • 男性、85歳、肺結核 • 女性、84歳、肺結核
2020年 第6週	4類	デング熱	1	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、31歳、感染地域：ブラジル
2020年 第6週	5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、76歳

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

2020年 第6週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	・女性、47歳、菌検出検体：血液
2020年 第6週	5類	百日咳	6	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、7歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 ・女性、3歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 ・男性、2歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：清須市 ・男性、47歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：愛知県 ・女性、30歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 ・男性、0歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった1類から5類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020年 第5週	5類	アメーバ赤痢	1	・男性、67歳、腸管アメーバ症、感染原因：性的接触（同性間）、感染地域：岐阜県
2020年 第5週	5類	後天性免疫不全症候群	1	・男性、32歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：中国
2020年 第5週	5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	・男性、10歳、菌検出検体：血液
2020年 第5週	5類	百日咳	2	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、5歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 ・女性、9歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：愛知県
2020年 第4週	5類	梅毒	1	・男性、36歳、早期顕症梅毒（2期）
2019年 第44週	5類	百日咳	1	・女性、7歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2020年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

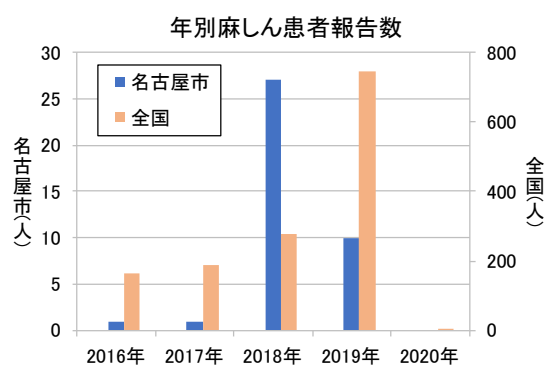
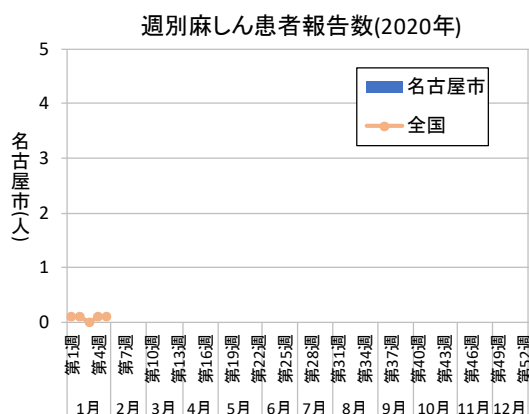
感染症の分類	疾患	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	49 (12) [0] [0] [0]
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る)	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コ ロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	0
4類感染症	デング熱	3
4類感染症	レジオネラ症	2
5類感染症	アメーバ赤痢	1
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2
5類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、 東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー 熱を除く）	3
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2
5類感染症	後天性免疫不全症候群	5 (5)
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6
5類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	11
5類感染症	水痘（入院例に限る）	2
5類感染症	梅毒	14 (1)
5類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
5類感染症	百日咳	23
5類感染症	風しん	7

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

累計は2020年第1週からの診断週による累計、()内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[]内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4類及び5類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。
(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の麻しん報告数：2020年2月12日作成〕



週別麻しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	第6週(2月2日)までの合計(人)
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

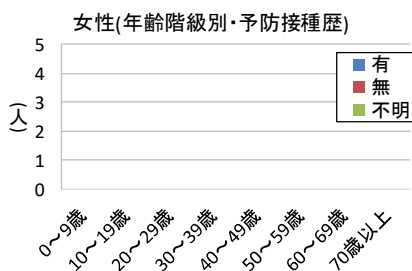
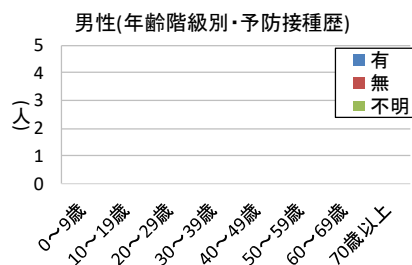
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	10	0※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	41	2※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	279	744※3	4※2

※1 第6週(2月9日)まで ※2 第5週(2月2日)まで ※3 報告数は速報値

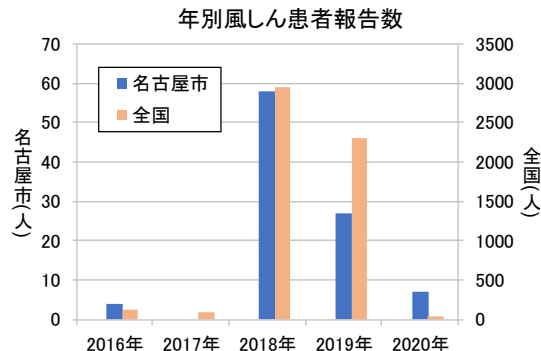
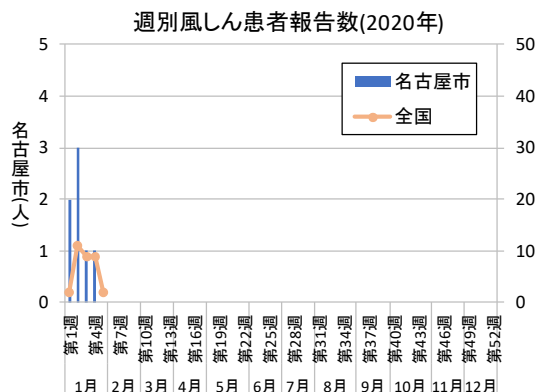
麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

		予防接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)				0
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	0	0
	総計(人)	0	0	0	0



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2020年2月12日作成〕



週別風しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週 (12/30~ 1/5)	第2週 (1/6~ 1/12)	第3週 (1/13~ 1/19)	第4週 (1/20~ 1/26)	第5週 (1/27~ 2/2)	第6週 (2/3~ 2/9)	第6週(2月9日)までの 合計(人)
	2	3	1	1	0	0	7

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

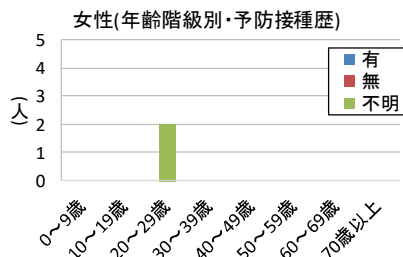
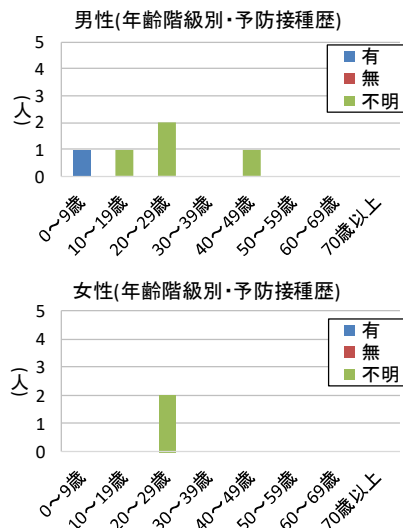
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	27	7※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	118	59	7※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2946	2306※3	33※2

※1 第6週(2月9日)まで ※2 第5週(2月2日)まで ※3 報告数は速報値

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0~9歳	1			1
	10~19歳			1	1
	20~29歳			2	2
	30~39歳				0
	40~49歳			1	1
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	0	4	5
女性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳			2	2
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	2	2
	総計(人)	1	0	6	7



風しん患者情報(2020年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	2020.1.4	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
2	2020.1.5	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
3	2020.1.8	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
4	2020.1.9	5歳	男	有	国内(愛知県)
5	2020.1.11	10歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
6	2020.1.14	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
7	2020.1.23	40歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザ：A型 5 名 B 型 1 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：A型 14 名 B 型 4 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：A型 9 名 B 型 3 名 アデノウィルス扁桃炎 6 歳女児 2 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：A型 7 名 B 型 7 名	定点医療機関（千種区）
A 型 6 名 B 型 4 名	定点医療機関（東区）
B 型 1 名 A 型 1 名	定点医療機関（東区）
インフルエンザ A 型：2 名	定点医療機関（北区）
インフルエンザ：A 型 24 名、B 型 8 名。	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 10 名、B 型 3 名、臨床診断 1 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ B 型 4 名	定点医療機関（中村区）

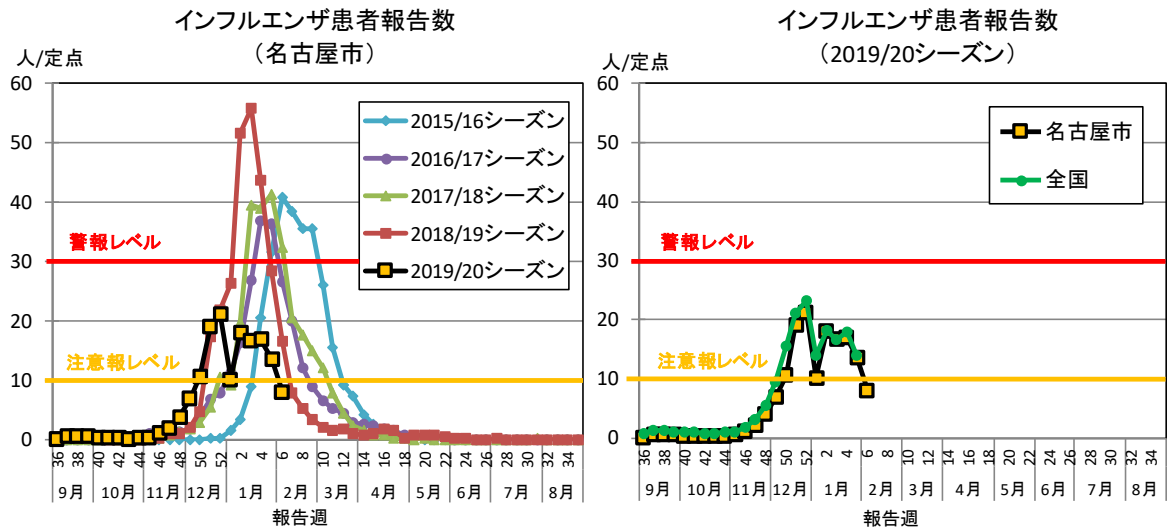
NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

インフルエンザ A 型 4 名、B 型 5 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ B 型：1 名、	定点医療機関（中区）
インフルエンザ B 型：2 名、水痘上海からの来名児	定点医療機関（中区）
インフルエンザ A 型：6 名、インフルエンザ B 型：1 名	定点医療機関（中区）
インフルエンザ A 型：4 名、	定点医療機関（中区）
インフルエンザ A 型：1 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型：2 名、臨床診断例：1 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型：1 名、インフルエンザ B 型：2 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型：6 名、インフルエンザ B 型：1 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型：5 名、インフルエンザ B 型：2 名、 臨床診断例：3 名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型 1 人、インフルエンザ B 型 1 人	定点医療機関（瑞穂区）
インフルエンザ B 型：1 名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザ A 型：5 名、 B 型：1 名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザ A 型 1 名	定点医療機関（港区）
インフルエンザ A 型 3 名	定点医療機関（港区）

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

A型 男 19名@B型 女 16名	定点医療機関（南区）
A型 11名	定点医療機関（南区）
A型 3名@B型 2名	定点医療機関（南区）
A型 5名 B型 1名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザB型 1名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型5件、B型5件	定点医療機関（緑区）
マイコプラズマ肺炎 2件	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型1名、インフルエンザB型9名合計 10名でした	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型8名、インフルエンザB型3名で した	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型6名	定点医療機関（天白区）
インフルエンザ7例うちB型3例	定点医療機関（天白区）
伝染性紅斑 父親と娘2人計3人	定点医療機関（天白区）

〔名古屋市のインフルエンザ報告数：2020年2月12日作成〕



※名古屋市は2020年第6週、全国は2020年第5週までの報告数

定点当たり患者報告数(2019/20シーズン:8週分)

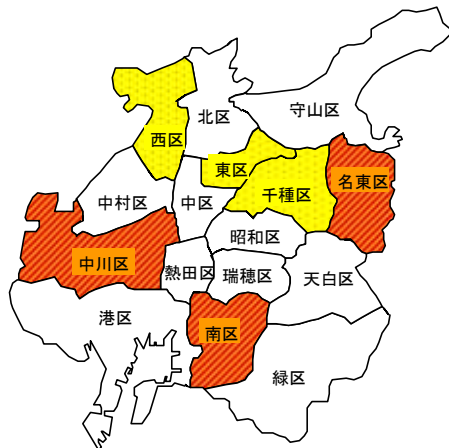
	第51週 (12/16~ 12/22)	第52週 (12/23~ 12/29)	第1週 (12/30~ 1/5)	第2週 (1/6~ 1/12)	第3週 (1/13~ 1/19)	第4週 (1/20~ 1/26)	第5週 (1/27~ 2/2)	第6週 (2/3~ 2/9)
名古屋市	19.17	21.33	10.23	18.17	16.77	16.91	13.60	8.11
名古屋市 (2018/19)	17.34	22.00	26.23	51.66	55.77	43.69	28.47	16.67
愛知県	27.55	29.94	23.08	26.12	24.06	25.14	19.76	—
全国	21.22	23.24	13.93	18.33	16.73	18.00	14.11	—

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準
 ※報告数は各週公表時における速報値

各区の患者報告数(第6週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの 患者報告数(人)	62	42	37	50	34	14	24	19	14	46	16	60	48	21	50	31	568
定点当たり 患者報告数(人)	12.4	10.5	7.4	12.5	6.8	3.5	4.8	3.8	3.5	11.5	4.0	15.0	9.6	5.3	12.5	7.8	8.11

インフルエンザ



2020年第6週

注意報警報レベルについて

患者報告状況 (定点当たり患者報告数)	色
平常レベル	白
注意報レベル	黄
警報レベル	赤

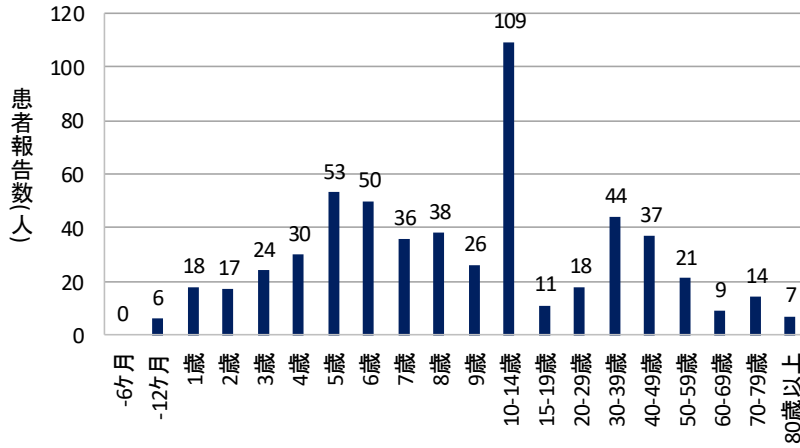
注意報・警報レベルの基準値(定点当たり患者報告数)

注意報レベル	警報レベル	
基準値	開始基準値	終息基準値
10	30	10

注意報レベル: 定点当たりの患者報告数が10以上30未満の場合
 警報レベル: 定点当たりの患者報告数が30以上となり、その後、10未満となるまで

年齢階級別患者報告数

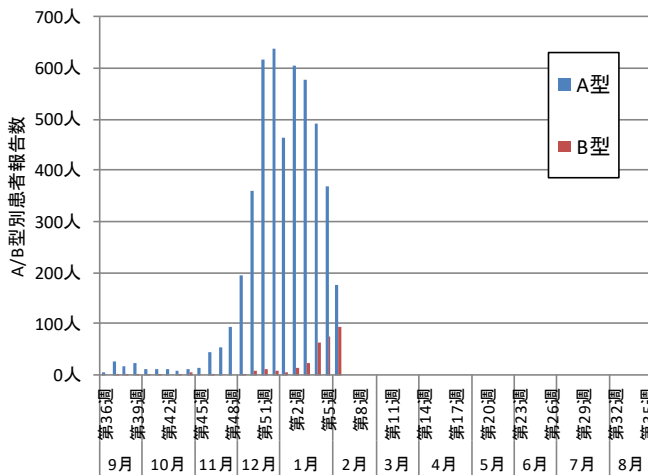
定点からのインフルエンザの
年齢階級別患者報告数(第6週)



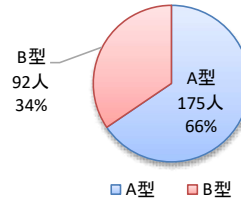
インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2020年第6週は、インフルエンザA型175人、インフルエンザB型92人で、B型の患者報告数が増加しています。2019/20シーズンの累計では、インフルエンザA型4805人(94%)、B型317人(6%)となっています。2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されています。また、A/H3N2亜型、B型ビクトリア系統も検出されています。

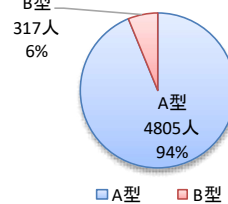
インフルエンザA/B型別患者報告数(2019/20シーズン)
(定点医療機関からの情報による)



インフルエンザA/B型別患者
報告数の割合(第6週)



インフルエンザA/B型別患者
報告数の割合(2019/20シー
ズン累計)



(報告数はその訂正などにより、変更される場合があります)

◆2020年第6週 患者報告数(疾病区別)、定点あたり患者報告数(疾病区別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

患者報告数(名古屋市)

2020年第6週(2020年2月3日~2月9日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	62	42	37	50	34	14	24	19	14	46	16	60	48	21	50	31	568	0.6	0.3
○RSウイルス感染症	1			5								1					7	0.4	0.4
○咽頭結膜熱			5	8						5		3			2		23	1.2	1.8
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	4	7	12		1			3	2	16	3	21	4	12	6	102	0.8	1.5
○感染性胃腸炎	21	7	34	56	22	8	10			21	31	11	13	10	20	29	293	1.0	1.6
○水痘			1	2		1			1	3			3		3	1	15	2.5	1.1
○手足口病																	0	0.0	0.0
○伝染性紅斑		1	6							5			2	2	2	5	23	0.9	4.9
○突発性発疹	1		2	2						1							7	1.2	1.2
○ヘルパンギーナ																	0	0.0	0.0
○流行性耳下腺炎				1													1	0.3	0.2
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎									1								1	0.3	0.3
△細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎							1										1	0.5	1.0
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
計	96	54	92	136	56	24	35	19	19	83	63	78	87	37	90	72	1041		

*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2020年第6週(2020年2月3日~2月9日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	12.4	10.5	7.4	12.5	6.8	3.5	4.8	3.8	3.5	11.5	4.0	15.0	9.6	5.3	12.5	7.8	8.1
RSウイルス感染症	0.2			1.3								0.3					0.1
咽頭結膜熱			1.0	2.0						1.3		0.8			0.5		0.3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.2	1.0	1.4	3.0		0.3			0.8	0.5	4.0	0.8	4.2	1.0	3.0	1.5	1.5
感染性胃腸炎	4.2	1.8	6.8	14.0	4.4	2.0	2.0			5.3	7.8	2.8	2.6	2.5	5.0	7.3	4.2
水痘			0.2	0.5		0.3			0.3	0.8			0.6		0.8	0.3	0.2
手足口病																	
伝染性紅斑		0.3	1.2							1.3			0.4	0.5	0.5	1.3	0.3
突発性発疹	0.2		0.4	0.5						0.3					0.3		0.1
ヘルパンギーナ																	
流行性耳下腺炎				0.3													0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎									1.0								0.1

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2020年第6週(2020年2月3日～2月9日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ		6	18	17	24	30	53	50	36	38	26	109	11	18	44	37	21	9	14	7

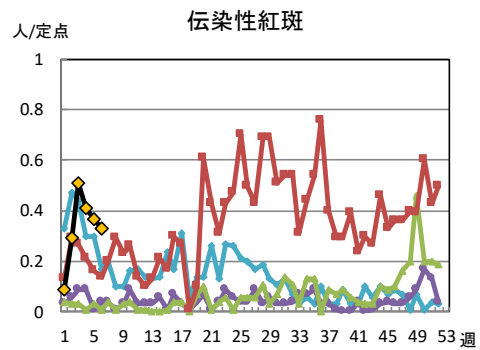
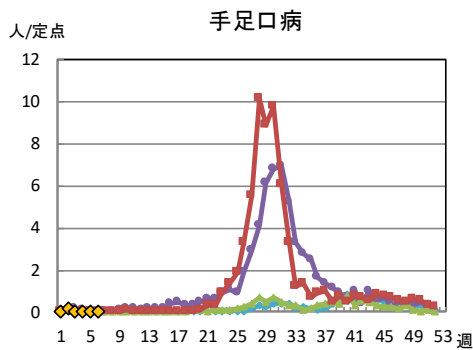
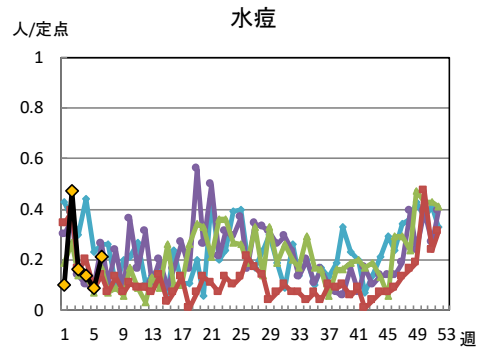
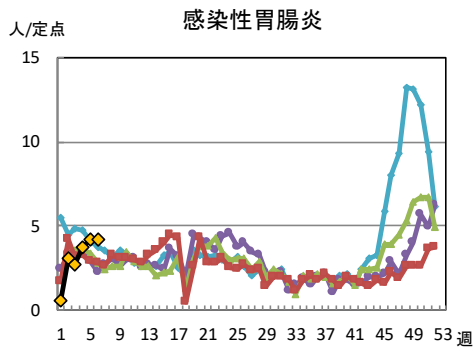
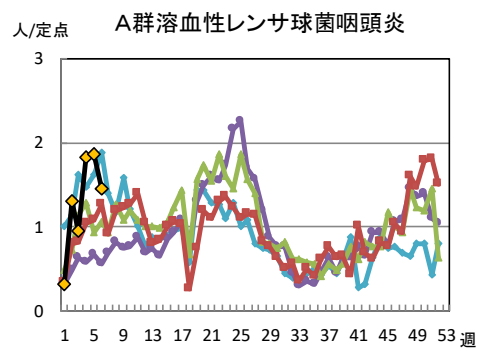
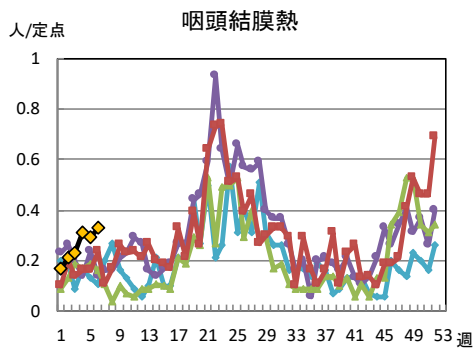
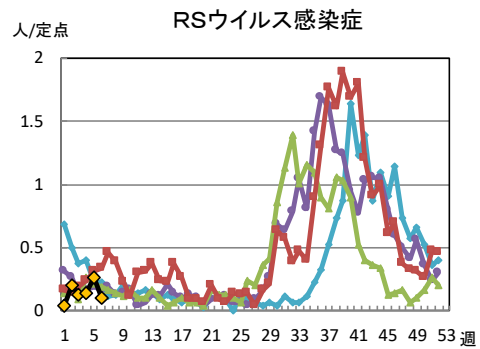
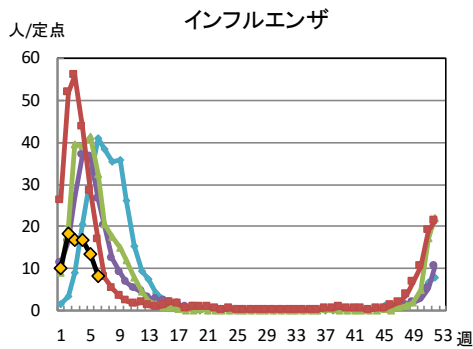
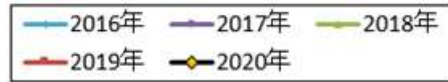
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	4	1	1		1									
咽頭結膜熱		1	4	5	5	4	1	2					1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	7	7	15	18	12	10	6	6	8	1	9
感染性胃腸炎	1	16	37	30	23	28	28	17	9	4	6	19	7	68
水痘	1		3		2		2	2	1	3		1		
手足口病														
伝染性紅斑			2	1	1	4	8	3	1			2	1	
突発性発しん		3	3	1										
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎												1		

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎														1						

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎			1													
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2020年第6週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2020年第6週まで

